

(参考) 財務局及び財務事務所において判断した各地域の経済情勢

	総括判断 (6年1月判断)	前回との比較	総括判断の要点
北海道財務局	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、持ち直しつつある。観光は、緩やかに持ち直している。
東北財務局	持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、輸送機械が供給制約の改善に伴い持ち直している一方、生産用機械が海外の設備投資需要の落ち着きから引き続き弱含んでいるなど、一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
宮城	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに回復しつつあり、生産活動は一進一退の状況にある。雇用情勢は緩やかに持ち直している。
青森	持ち直している	➡	個人消費は持ち直しており、生産活動は足踏みの状況にある。雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。
岩手	持ち直しつつある	➡	個人消費は持ち直しており、生産活動は一進一退の状況にある。雇用情勢は持ち直しつつある。
秋田	持ち直しつつある	➡	個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は横ばいの状況にある。
山形	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は持ち直しており、生産活動は横ばいの状況にある。雇用情勢は持ち直しのテンポが緩やかになっている。
福島	持ち直しつつある	➡	個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は一進一退の状況にある。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
関東財務局	持ち直している	➡	個人消費は、物価上昇の影響はみられるものの、百貨店販売額、スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額などが前年を上回っているほか、宿泊や飲食サービスなどは持ち直しており、緩やかに回復しつつある。生産活動は、輸送機械、電気機械が増加しているものの、生産用機械などが減少しており、一進一退の状況にある。雇用情勢は、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあるなか、改善しつつある。
埼玉	持ち直している	➡	個人消費は、物価上昇の影響はみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあるなか、持ち直しつつある。
茨城	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は一進一退の状況にある。
栃木	持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
群馬	持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、足踏みの状況にある。
千葉	持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
東京	回復しつつある	➡	個人消費は、回復しつつある。産業活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、改善している。
神奈川	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響はみられるものの、回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、持ち直している。
新潟	持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は、改善しつつある。
山梨	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。
長野	持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、足踏みの状況にある。
北陸財務局	令和6年能登半島地震前は、持ち直していたが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。	-	令和6年能登半島地震前は、個人消費は、ドラッグストア販売が拡大しており、百貨店・スーパー販売が持ち直していることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスが下げ止まっているほか、化学が緩やかに回復しつつあるものの、生産用機械が拡大の動きに一服感がみられることなどから、全体では足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。
石川	令和6年能登半島地震前は、持ち直していたが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。	-	令和6年能登半島地震前は、個人消費は緩やかに回復しつつあり、生産活動は持ち直しの動きに一服感がみられる。また、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。
富山	令和6年能登半島地震前は、持ち直していたが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。	-	令和6年能登半島地震前は、個人消費は緩やかに回復しつつあり、生産活動は足踏みの状況にある。また、雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。
福井	令和6年能登半島地震前は、持ち直していたが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。	-	令和6年能登半島地震前は、個人消費は緩やかに回復しつつあり、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。また、雇用情勢は、持ち直している。現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。
東海財務局	一部に弱さがみられるものの、回復している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、自動車関連を中心に回復している。雇用情勢は、緩やかに改善している。
愛知	一部に弱さがみられるものの、回復している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、自動車関連を中心に回復している。雇用情勢は、緩やかに改善している。
岐阜	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
静岡	総じて回復しつつある	➡	生産活動は、自動車関連を中心に回復しつつある。また、個人消費は、緩やかに回復しつつあるほか、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
三重	持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、改善に向けた動きが続いている。

(注) 6年1月判断は、前回5年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。  
北陸は、令和6年能登半島地震による地域への影響全体について現時点では十分に把握できないため、前回との基調比較は行っていない。

	総括判断 (6年1月判断)	前回の比較	総括判断の要点
近畿財務局	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、人流の回復やインバウンドの増加により、緩やかに回復しつつある。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 大阪	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は足踏みの状況にある。雇用情勢は緩やかに持ち直している。
➤ 滋賀	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は回復しつつある。雇用情勢は持ち直しつつある。
➤ 京都	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は回復しつつある。生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は緩やかに持ち直している。
➤ 兵庫	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢はテンポが緩やかながらも、持ち直しつつある。
➤ 奈良	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は足踏みの状況にある。雇用情勢は持ち直しつつある。
➤ 和歌山	持ち直している	➡	個人消費は持ち直している。生産活動は持ち直している。雇用情勢は持ち直しつつある。

中国財務局	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、外出関連消費が好調なことなどから、緩やかに回復しつつある。生産活動は、半導体不足の改善などから、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。
➤ 広島	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、外出関連消費が好調なことなどから、緩やかに回復しつつある。生産活動は、半導体不足の改善などから、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。
➤ 鳥取	持ち直しのテンポが緩やかになっている	⬅	個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、弱含んでいる。
➤ 島根	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。
➤ 岡山	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 山口	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。

四国財務局	持ち直している	➡	個人消費は、スーパーやコンビニエンスストアが堅調となっているほか、観光も緩やかに回復していることから、全体としては持ち直している。生産活動は、パルプ・紙が弱含んでいるものの、化学が緩やかに持ち直しつつあるほか、食料品が持ち直しつつあることから、全体としては一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 香川	持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 徳島	持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。
➤ 愛媛	持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。
➤ 高知	持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

九州財務局	回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響もみられるものの、回復しつつある。生産活動は、海外経済の減速などの影響がみられるなか、横ばいの状況にある。雇用情勢は、持ち直している。
➤ 熊本	緩やかに回復している	➡	個人消費は、物価上昇の影響もみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、海外経済の減速などの影響がみられるなか、横ばいの状況にある。雇用情勢は、持ち直している。
➤ 大分	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、有効求人倍率が高止まっており、緩やかに改善している。
➤ 宮崎	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、経済活動の正常化などを背景として、緩やかに回復しつつある。生産活動は、食料品工業が横ばいの状況のなか、海外需要の減少などの影響がみられ、電子部品・デバイス工業などが弱い動きとなっており、弱含んでいる。雇用情勢は、運輸業・郵便業などを中心に緩やかに改善しつつある。
➤ 鹿児島	回復しつつある	➡	個人消費は、物価高による節約志向の高まりがみられるものの、経済活動の正常化を背景として、回復しつつある。生産活動は、依然として受注回復の兆しが見えていないなど、弱含んでいるほか、雇用情勢は、底堅く推移している。

福岡財務支局	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 福岡	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 佐賀	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
➤ 長崎	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

沖縄総合事務局	回復しつつある	➡	個人消費は、緩やかに回復している。観光は、回復しつつある。雇用情勢は、改善に向けたテンポが緩やかになっている。
---------	---------	---	---